

西播地区予選で悲願の初優勝を飾った龍野の女子一兵庫県上郡町若縄



執念の力走で地区初制覇

龍野 女子西播1位

西播地区予選で初優勝を飾った女子の龍野は、昨年まで7年連続、通算では実に17度、2位だった。ついに壁を破った5人の手の甲には、一つずつ文字が書かれていた。並べると「さいごまで」。執念の力走だった。

1区は2年生末兼。昨年の3区から倍の6キ区間を任された。「距離を踏んできたから粘り強く走れた」と区間2位で滑り出すと、2区岡田が区間賞の快走で先頭との差を3秒まで詰めた。

今季8000から5000区まで幅広く走ってきた久保田は、3区の3キを「一番成果が表れる」と堂々と駆け、昨年の2区に続く区間賞で首位に浮上。4区松下も堅実な走りでもトップを守った。

「9月の終わりに下半身が痛み、走れるか分からなかった」というアンカー板東は、折り返し前に2番手に迫られたが、「みんなのたすき、去年の悔しさを思い出した」と奮起。粘り強く区間賞を締めた。

39度目の開催でたどり着いた西播女王の座。次なる目標は、昨年12位だった県大会で3位に入ることだ。

(有島弘記)